

手稲養護学校 PTA だより (web 版)

第2号

2026年3月13日
発行 PTA 文化部

「今年度を振り返って」

校長 星野 健史

令和7年度から2年間、本校のPTA会長が北海道肢体不自由養護学校PTA連合会の会長、校長が事務局長として全国的なPTA研修会に出席させていただきました。大久保会長はお仕事の都合で欠席となりましたが、8月20日(水)・21(木)大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)で開催されました第68回全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会およびPTA・校長会合同研究大会「大阪大会」に出席させていただきました。歴代の保護者代表の熱い思いを感じて帰ってきました。

この大会の大切な役割として閉会式において、全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会として、全国の肢体不自由のある子供たちが意欲的に学び、社会に安心して巣立っていく環境と支援の輪を充実させるために、校長会、国、関係団体との連携を密にしてPTA連合会として10の具体的な取組をすることを宣言しています。

この宣言文は68年の歴史があり、全国のPTA役員が代表として国や関係省庁に働きかけつづけてきました。そのおかげで、今を生きる子供たちが当たり前利用できている福祉サービスや関係法令が整備されました。大会宣言文の冒頭に次のことが書かれています。

「PTAの基盤は『つながり』です。その真ん中には子供たちがいます。PTA活動が敬遠されがちな昨今ですが、私たちには『つながり』が不可欠です。一人一人の声は小さくとも、全国の皆様の声を一つにすることで日本中に響かせることができるはずです。地域が違っても思いは一つ。自分を知り、相手を知り、互いに手を携えてまいりましょう。全国大会はそのためにあるのだと思います。」

本校でも毎年PTAの皆様にご協力をいただき感謝申し上げます。全国大会でどのような取組がされているか「しびれん」のHPに掲載の大阪大会ダイジェスト(右のQRコード)をぜひ一度ご覧ください。



最後に、本校を卒業する卒業生の皆さん「卒業おめでとうございます。」みなさんの益々の活躍と幸せを願っております。



手稲養護学校PTAママゴンズ
イメージキャラクターです

卒業記念品の紹介



コンパクトタブレットスタンド

PTA研修会報告

11月14日に保護者4名、職員5名が参加してのPTA研修会が行われました。

今年度は、西区にある「ケアセンター山の手」と「緑ヶ丘療育園」の見学でした。

「ケアセンター山の手」は社会福祉法人 禎心会が運営しており、通所の生活介護、短期入所の支援が受けられます。生活機能の維持・改善・社会参加活動の拡大に向けた軽作業や机上課題、レクリエーションやお楽しみ会など多種多様なサービスの説明がありました。体験利用も随時募集しているそうです。

「緑ヶ丘療育園」は社会福祉法人 札幌緑花会が運営している療育介護・医療型障がい児入所施設です。個を尊重した暮らしや、生活場をふれあいの場として大切にしている、というお話がありました。デイサービスやてんかん診療なども行っています。

パンフレットをいただきましたので、来校の折にぜひご覧ください。



PTA子ども縁日

今年度から2日間日程での開催となった文化祭ですが、1日目の「子ども縁日」では、イオンイエローシートキャンペーンで購入した品物の中から子どもたちが好きな品を選びました。すぐに決めて持ち帰る子どもや、何度も会場を回ってじっくり選ぶ子どもなど、それぞれの性格も表れて楽しいひとときでした。当日は4名の保護者の方にご参加いただきました。次年度も、毎月11日の山口イオンでのお買い物やPTA活動へのご協力をお願いします。

